

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

笠間市農業公社  
クーポン券  
【利用可能日】  
2022年  
3月26日(土) -  
27日(日)

3年間  
ありがとうございました。  
そして、これからも  
よろしくお願いします。



おかもと とうじ  
岡本 浩二 隊員 57歳 兵庫県から移住

あつという間の3年間でした。

定年まで今のような仕事第一の生活で良いのかと考え出したのは、50歳で亡くなった親父の年齢を過ぎた頃からだっと思えます。

若い頃の夢の一つだった、好きな音楽を流し、好きなギターを弾きながら歌える店を作りたい。

そんな思いで「田舎暮らし 移住」で検索し、笠間市地域おこし協力隊の募集に出会ったのが、2018年の12月でした。

正直、軽い気持ちで1月に履歴書を送ったのですが、なんだか話がとんとん拍子に進み、2月に面接を受け、採用の連絡をいただいた時には、会社にも家族にも、笠間の事はまだ何も話していない状況でした。

それが今、こうして楽しく笠間で活動し、セカンドライフの夢の実現に近づけているのも、快く背中を押してくれた家族と、快く受け入れてくださった笠間の皆さんのおかげだと感謝しています。

この3年間、笠間クラインガルテンの農産物販売所を盛りあげようと、色んな事にチャレンジしてきました。新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、大き

く貢献できたのではと思っっています。

いつまでも農産物販売所が地域生産者さんの野菜が並ぶ場であり、地域の皆さんとガルテナーさんの集いの場、子どもたちの笑顔があふれる場であって欲しいと願っています。

私は卒業後も笠間に残り、クラインガルテンで始めた活動の一つである「関西フード」を、「道の駅かさま」で販売していきます。

多目的広場の一番奥にある、小さな小屋が私のお城です!!真心を込めて「たこ焼き」「たこせん」を提供します。

「大阪イカ焼き」「明石焼き」「ひやしあめ」など、関東では味わえないメニューも徐々に増やしたいと思っています。



たこせん



たこ焼き



※この3年間のお礼としてクーポン券を付けました。3月26日(土)・27日(日)の2日間、このページの右端にあるクーポン券を切り取って、道の駅かさまの多目的広場奥の小屋(「たこ焼き」のれんが目印)にお持ちください。会計時に200円引きいたします。皆さんのご利用お待ちしております!

# ～3月で2名の協力隊の隊



かわしま ひらく  
川島 拓 隊員 27歳 北海道から移住

協力隊を卒業して  
いよいよ笠間市で  
農家になります！



笠間市地域おこし協力隊となつてから3年間、たくさんの方に支えていただき、とても充実した日々を過ごさせていだきました。お世話になった皆さまに、この場を借りて心から御礼を申し上げます。

私は学生時代からの夢だった「農業で生きていく」という目標をもって地元茨城に戻り、笠間市地域おこし協力隊となりました。3年間の活動を少しだけ振り返ってみます。

【1年目】  
市内の生産者さんを回りながら笠間市の農産物のPRや、農業経営の勉強会(セミナー)を開催しました。

【2年目】  
新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが落ち込んだ農産物のインターネット販売支援や飲食店を応援するクラウドファンディングを行いました。

【3年目】  
福原地区にある田村きこの園で研修をさせていただき、肉厚なジヤンボしいたけを笠間市に残すために栽培技術の習得に励みました。振り返ると活動の一つひとつが

今の自分につながっていると感じています。

笠間市の農業の魅力は、小規模ながらもこだわりを持ったきらりと光る農業がたくさんあるところだと感じています。そういったさまざまな農業との出会いをきっかけに「地域の魅力ある農業を未来に残したい」という、もう一つの目標を持つようになりました。

4月からは田村きこの園の事業を継承し、椎茸の栽培をしていきます。これまでお世話になった農家の方々と同じ「生産者」としてスタートラインに立てることがとてもうれしいです。

これからもたくさんの方と関わりながら笠間で暮らしていきたいと思えます。今後ともよろしく願います！



インターネットで販売した笠間市の農産物



農業経営発信セミナーの開催



笠間市地域おこし協力隊のフェイスブックもご覧ください

問 企業誘致・移住推進課 (内線592)